

十日市場団地地区

十日市場団地地区別計画推進委員会

地域

十日市場町（十日市場団地地区）

昭和34年から39年にかけて建てられた市営十日市場住宅を中心とした地区。建物の老朽化に伴い、十日市場ヒルタウンとして平成3年から全面的な建替えを実施。高層化により人口も増加傾向にある。ヒルタウンの名称のように、丘陵状の地形に計画的に整備されている。

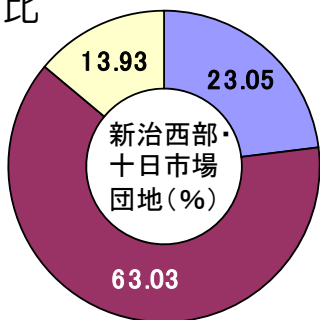
<主な関連施設>

- 最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）
- 震災時避難場所（地域防災拠点）：十日市場中学校
- 地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

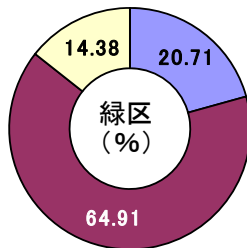
<年齢区分別人口>

平成25年(2013年)9月末

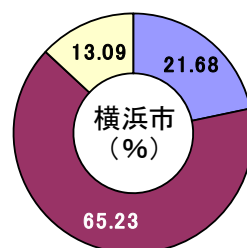
人口比



75歳～	2,280人
65～74歳	2,245人
15～64歳	12,374人
6～14歳	1,735人
0～5歳	999人
合計	19,633人



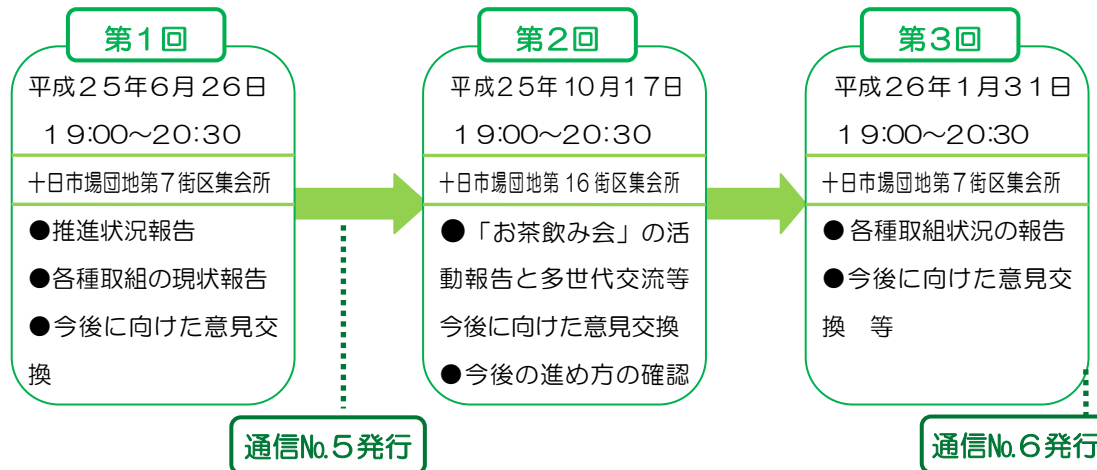
75歳～	16,136人
65～74歳	20,748人
15～64歳	115,600人
6～14歳	15,912人
0～5歳	9,693人
合計	178,089人



75歳～	367,822人
65～74歳	437,068人
15～64歳	2,421,736人
6～14歳	296,135人
0～5歳	190,048人
合計	3,712,809人

地区別計画推進委員会の開催状況

注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成25年度地区別計画推進状況



十日市場団地地区



団結して地域の「つながり」を作っていこう！

十日市場団地地区では、地域の各団体が連携を図りながら、地域で暮らす方々の**つながり**を大切にしたい取組を行っています。

●大好評!!「お茶飲み会」●

平成25年1月からは、身近な交流の場として、「十日市場団地 お茶飲み会」を毎月1回、2か所の集会所で交互に開催しています。

天候に関係なく、毎回大勢の参加があり、中には、待ちきれずに開始時間前に訪ねてくる方もいます。また、小さいお子さんとお母さんの参加もあり、今後は多世代交流の場としても期待されています。

(写真上:「お楽しみ会」の様子、

写真下:「お楽しみ会」スタッフも一緒に合唱!の様子)

12月には、「お楽しみ会」を行い、80人と大勢の参加がありました。これからも趣向を凝らし、スタッフ自身も楽しみながら、取り組んでいきます。



(写真上:「餅つき大会」の様子)

●各団体の連携や情報共有の推進●

推進委員会には、民生委員児童委員、自治会、地区社会福祉協議会、子供協議会など、多くの方が参加しています。各団体が連携し、情報を共有しながら、「防災訓練」に取り組んだり、「餅つき大会」などのイベントを実施することで「地域のつながり」をより一層深め、取組の輪を広げています。

十日市場団地地区では、通算450号を超える連合自治会発行の「住連通信」が配布されています。

地域の様々な行事やニュースのほか、「お茶飲み会」の様子なども掲載されていますので、ぜひ、ご覧ください！



これからも

いつまでも支えあえる **十日市場団地** を目指します！

十日市場団地地区別計画推進委員会



十日市場団地地区別計画推進委員会
平成25年7月発行 No.5

十日市場団地地区別計画推進委員会通信

平成25年6月26日（水）十日市場ヒルタウン7街区集会所において、「平成25年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、新たな委員、十日市場中学校の副校長も加わり、計17名が出席し、みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画の推進に向け、今までの取組状況と今後に向けた話し合いを行いました。

★十日市場団地地区別計画推進委員会

十日市場団地地区の計画推進員の主な福祉保健団体などの代表がメンバーとなり、「みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的な取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会で、今年度は29人の委員により、構成されています。

推進委員会の様子



★みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

その中でも「地区別計画」は、身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。十日市場団地地区別計画策定委員会が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に「十日市場団地地区別計画」を策定しました。



十日市場団地地区 地区別計画目標 団結して地域の「つながり」を作っていこう！

これまでの取組をご紹介します！ ☆・°・°・*:.。..。:*・°・°・★:.。:*° **° ☆

●身近な交流の場づくり 「お茶飲み会」

「身近な交流の場を！」と、平成25年1月から毎月一回、集会所で開催している「十日市場団地 お茶飲み会」。

天気に関係なく、毎回多くの方が参加されている様子が報告されました。

リピーターも増えて、地域の皆さんも楽しみにしてくださっているようです。

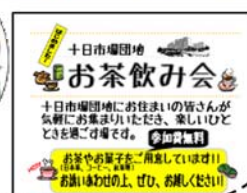
参加者はもちろん、スタッフも無理なく楽しんでやっています。

夏休みの時期には、お茶飲み会の日に地域の子もたちとの交流もしたいと考えています。

笑顔のスタッフ一同



「お茶飲み会」の様子



●地域防災訓練など



地域の交流でも防災用かまどを活用

防災用のかまどを日頃の地域での交流の場面で活用しています。また、いざという時、足の不自由な人でも団地の階段を上げ下ろしできるように、レスキューシートを購入しました。1月の防災訓練では実際に「避難介助訓練」も実施しました。課題として、災害時に助け合えるような担い手が必要であることがあげられました。



<推進委員会での主な意見>

●防災訓練について

- ・レスキューシートを使って継続して訓練を行うことが大切ではないか。
- ・中学生も参加して一緒に行えると良い。



レスキューシート

●身近な交流の場づくり「お茶のみ会」について

- ・今まで6回開催して、スタッフも参加者も笑顔で行っている。
 - ・参加のきっかけに住連通信が大きな力になっている。
 - ・参加者も30~50人となり、男性も楽しそうに会話が弾んでいる。
 - ・6月にアンケートを取り、飲み物の内容も検討している。
 - ・子どもなど学生の参加も呼び掛けていきたい。
- また、学校では教わらない昔のこと、遊びなど聞ける機会にもなる。
- ・スタッフも無理ない状態で少しずつ増やしていきたい。

今後の取り組みについて

自治会との連携・情報共有の推進

○地元自治会とのさらなる連携により、情報共有を推進するとともに地区別計画の担い手を増やすことで、取組の輪を広げていきます。

お茶飲み会の更なる発展へ

○高齢の方だけでなく、子どもや学生、親子も参加し、多世代の交流を図っていきます。伝承遊びなど新たな取組も考えます。

「継続して地域のつながり作り」に向けて
地域の中での輪をつくり、広げていくことを確認しました。

【十日市場団地地区別計画推進委員】

○野口昭紀、宮本増穂、伊藤利男、橋川茂子、有馬忠雄、高橋昇、八木橋民夫、輿石勝子、埴高子、落合良子、羽島節子、前田正由、川隅やす子、山口等、本田富男、栗原保恵、大村律子、堀川智子、平井仁女、山田孝信、白田邦彦、百武品代、古屋紀美代、小山秀夫、稲垣繁雄、山岸英二、靱井嘉代子、古田三郎、八木範夫 (敬称略、順不同、○：委員長)



今年度の推進委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司、保健活動推進員、地区社会福祉協議会、子供協議会、十日市場中学校などにより構成されています。

<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進委員会
 事務局 緑区子ども家庭支援課長
 TEL：930-2431



十日市場団地地区別計画推進委員会
平成26年2月発行 No.6

十日市場団地地区別計画推進委員会通信

平成26年1月31日（金）十日市場ヒルタウン第7街区集会所において、「平成25年度第3回 みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催しました。話し合いの様子と今年度の取組の一部を皆様にご紹介します。

★十日市場団地地区別計画推進委員会

十日市場団地地区の計画推進員の主な福祉保健団体などの代表がメンバーとなり、「みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け取り組んでいます。委員会では29人のメンバーにより地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行っています。

推進委員会の様子



★みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

その中でも「地区別計画」は、身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。十日市場団地地区別計画策定委員会が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に「十日市場団地地区別計画」を策定しました。



十日市場団地地区 地区別計画目標
団結して地域の「つながり」を作っていこう！

目標達成に向けた取り組み

自治会との連携・情報共有の推進

○地元自治会とのさらなる連携により、情報共有を推進するとともに地区別計画の担い手を増やすことで、取組の輪を広げていきます。

お茶飲み会の更なる発展へ

○高齢の方だけでなく、子どもや学生、親子も参加し、多世代の交流を図っていきます。
伝承遊びなど新たな取組も考えます。

「継続して地域のつながり作り」を
地域の中での輪をつくり、広げていこう。

今年のご紹介をご紹介します！ ☆・°・*・。・。・*・°・°・★・。・*・°・**・°・☆

●地域の憩いの場 「お茶飲み会」

「身近な交流の場を！」と、平成25年1月から毎月1回、第2街区集会所、第16街区集会所を交互に会場とし、午後1時から3時に開催している「十日市場団地 お茶飲み会」。

天気に関係なく、毎回多くの方が参加されて、中には、待ちきれず開始時間前に訪ねてくる方もいます。

リピーターも増え、皆さんが楽しみにする身近な「地域の憩いの場」となりつつあります。

参加者はもちろん、スタッフも無理なく楽しんでやっています。

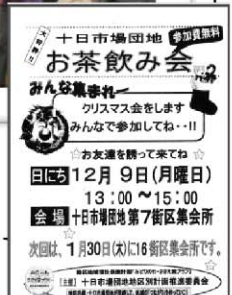
12月には、初めて第7街区集会所を会場に「お楽しみ会」を行い、80人と大勢の参加がありました。ゲームをしたり、歌ったり皆で楽しく過ごしました。

お子様連れの参加もあり、多世代の交流にも少しづつ取り組んでいます。



笑顔のスタッフ一同

「お茶飲み会」の様子



「お茶飲み会」チラシ

●自治会や地区社協との連携・地域防災訓練など



防災訓練では、消防団の方にも協力してもらい、AEDやレスキューシートを使っての訓練も実施しました。いざという時、災害時に助け合えるような担い手については、今後も皆で考えていきます。

また、地区社協とも連携して、餅つき大会を開催し、地域のつながりの輪を広げています。

レスキューシート訓練の様子

連合自治会発行の「住連通信」は、毎月発行され、通算450号を超え、地域の様々な行事やニュースが取り上げられています。「十日市場団地 お茶飲み会」の様子や開催案内も掲載されているので、それを見て参加される方もいます。



「住連通信」

「餅つき大会」の様子



【十日市場団地地区別計画推進委員】

- 伊藤利男、宮本増穂、橋川茂子、石川多美、高橋昇、田中正人、輿石勝子、塙喬子、落合良子、羽島節子、前田正由、川隅やす子、山口等、本田富男、栗原保恵、大村律子、堀川智子、平井仁女、山田孝信、白田邦彦、百武節代、古屋紀美代、小山秀夫、稲垣繁雄、山岸英二、靱井嘉代子、古田三郎、八木範夫（敬称略、順不同、○：委員長）



今年度の推進委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司、保健活動推進員、地区社会福祉協議会、子供協議会、十日市場中学校などにより構成されています。

<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進委員会
事務局 緑区こども家庭支援課長
TEL：930-2431